

令和5年度 自己評価・こども園関係者評価書

令和6年3月17日

社会福祉法人津万 つまこども園

1 本園の教育目標

「明るい声が響く 楽しいこども園」

- ・いきいきとした、たくましく明るい子ども
- ・考えてやりぬこうとする子ども
- ・美しくあたたかい心の子ども
- ・仲よく遊び、友達を大切にしている子ども

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

こども園の質の向上を目指し、研修し、識見を高め、指導力の向上を目指す。

3 評価目標の達成及び取り組み状況（10段階評価）

No.	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育及び保育の基本と目標に向かって充実した保育を実践する	8.3	乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解し、実践するように努めた。各自が作成した「エピソード記述」「ドキュメンテーション」をもとに「認定こども園教育・保育要領」の言葉を用いて、園内研修で定期的に協議しその内容が充実できるよう努めた。
2	子どもの発達を捉えた保育の在り方や幼児への対応	8.4	子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意するように努めた。また、発達の気になる子どもや支援の必要な子どもについては毎月の職員会議や連絡会で情報交換を行い、対応について共有するようにしている。特別支援教育に困難さを感じている職員もある。
3	「ねらい」及び「内容」の達成に向けての保育者の資質・能力の向上	7.7	様々な感染症対策としての衛生管理をはじめ、子どもの体調管理にも丁寧な対応を心がけた。このような状況の中において、領域「健康」については十分な資質・能力の向上が見られたと思われる。高齢者や小中学生との交流などの機会があまり取れなかったため、領域「環境」「人間関係」において、十分な対応ができていなかったのではないかと感じている保育教諭もいた。
4	低年齢児の保育実施上の保育者としての資質と能力の向上	8.3	室内の温度や湿度をこまめにチェックし、子ども一人一人の発達状態や健康状態をよく把握し、細かく観察している。特に、0歳児においては子どもが安心して睡眠が取れるように、視察訪問でアドバイス頂いたことを参考に、発達段階に即して発達を促す手作りの遊具を設置するなどの工夫をした。また活動しやすい保育室のレイアウトの工夫をした。
5	指導計画の作成・評価・反省	7.4	つまこども園の「めざす子ども像」に向けて、年齢ごとに作成した年間計画について、昨年の反省点に基づいた練り直しを行った。各クラスの担任が、カリキュラム検討会で前月の評価反省をしたり次の月のカリキュラムの検討を行ったり意見交換をしたりした。各担任から副担任等に共有していくのが難しかった。
6	研修と研究、自己評価	7.7	北はりま特別支援学校のコーディネーターを招き、園内研修で「エピソード記述」をもとに、子どもの学びの見とりやそれを言語化し共有していく手法を学び、互いの意見交換を通して、子ども観が深まるように取り組んだ。さらに、それを生かして、効果的に保護者に子どもの様子を伝える学級だよりとして発信した。互いの良い面に学びながら園内研修を進めることができた。
7	子育て支援	7.7	子育ての悩み等を安心して話せるように、送迎の際、保護者と言葉を交わしたり、連絡帳で情報を交換したりするようにしている。また、保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで、園全体で受け止めるようにした。個別懇談を実施し子育て支援に力を注ぐことができた。さらに、困り感のある家庭が相談できるように、キンダーワーカーを配置し、今後保護者を様々な関係機関とも繋ぐことができるように努めた。

4 総合的な評価結果（10段階評価）

評価	理由
8.3	<p>評価項目の達成及び取り組み状況において、概ね達成されている。保育内容においても概ね達成されているが、今後は、自然や身近な事象に関心をもったり動植物の飼育・栽培に意識的に取り組んだりすることに力を注ぎ、戸外活動を充実させていきたい。</p> <p>研修と研究・自己評価においては、担任に該当しなかった職員が、やや自己研鑽の機会をもてなかったと感じているようだ。日常的に研修を行い、それが日々の実践で深まる仕組みを充実していくことが課題である。</p> <p>個別懇談の開催やキンダーワーカーの配置など、子育て支援の機会をとるようにしたが、保護者が園に集まる場づくりの充実が課題である。</p> <p>今後の課題として、これまで控えていた地域の関係機関や団体などとの連携及び協力を再構築しつつ、保育の質の向上を図っていきたい。</p>

5 学校関係者の評価

運動会	<ul style="list-style-type: none"> ・普段じっとしていられないのに、ちゃんと出来ていてビックリしました。案の定、ダンスは踊っているところ見れなかったのですが、かけっこも玉入れも上手だったし、終始楽しそうで良かったです。かわいい姿が見れました！ありがとうございました。 ・小さい子供のクラスは長時間はもたないのに、これくらいで終わるのが良いのかなと思います。先生たちの工夫が生かされている様に思いました。とてもかわいい衣装で良かったです。 ・今年もとても楽しく観覧させてもらいました。当日まで暑い中、先生方と一緒に一生懸命練習したんだらうなあというのがとても伝わりました。かけっこの時、走る前に1人1人お名前を呼んで頂けると良く分かっていいなあと思いました。事前に配って頂いた、立ち位置や順番の表はとても分かりやすく良かったです。ありがとうございました。 ・昨年までは、コロナで本来の運動会ではなかったのだと思いますが、今年の運動会は感動という言葉が出るほどすごく良かったです。種目も増え、最後の最後まで楽しめて見れました。毎日の練習大変だったと思います。先生方、本当にありがとうございました。お疲れ様でした。 ・最後の運動会となりましたが、ダンスはみんなとても楽しそうに踊っていて、とても仲良しなすみれ組が見れてよかったです。鼓笛は本番前にみんな体調を崩し、大丈夫か心配でしたが、みんな一人一人頑張って成長した姿を見せてくれて、とても感動しました。先生方も大変な中ありがとうございました。
オープン教育・保育	<ul style="list-style-type: none"> ・両親の姿を見つけた時は泣いてしまいましたが、以前の時のようにかけよってこず頑張っている姿に成長を感じました。また、絵本を読んでもらっている時もとても楽しそうに反応している姿や自分の名前にしっかり返事ができている姿にも成長を感じました。クラスの友だちのことも好きなのが伝わってきて、とても楽しそうに全力で遊んでいて嬉しかったです。 ・なかなか見る事のないこども園での様子が見れて良かったです。先生のお話を聞いて、お友達と協力しながら毎日頑張っているんだなあと感じました。今年は人数制限がなかったため、おじいちゃん、おばあちゃんも行け、とても喜んでいました。給食をどんな感じで食べているのか見てみたいです。 ・クラス1人ひとり丁寧に声かけて下さっていました。クラスの先生方のチームワークをととても感じました。楽器あそびは、色々な楽器を鳴らしてみること以上に”好きなように鳴らしてみよう”だからこそ楽しさが伝わってきて、子どもたちも嬉しそうでした！練習したの？と思うくらい揃っている楽器もあってビックリしました。おみこし作りは完成がワクワクします。おたより楽しみです。 ・学級閉鎖だったが、中止ではなく別日にオープン保育してもらえてうれしかったです。内容ももりだくさんで、普段子どもたちが楽しんでいる保育をみれてうれしかったです。毎日、足の指の皮がめくれても頑張っていると聞いていた竹馬に乗れるようになっていく姿を見ることができ、感動しました。
認定こども園保護者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・行事ごとなどのお知らせをもう少し早めにしていただけると助かります。(具体例:行事予定日の前月10日頃)しほりに記載してくださっている物以外の衣類の指定を分かりやすくして欲しいです。 ・なかなか難しいかもしれませんが、看護師の配置はやはり必要かと思います。先生方も何かあったらと不安だと思います。 ・子どもの体調の変化、一日の様子などお迎えの度に細かく伝えていただけます。毎回の行事も、子供の成長を感じることができるため、楽しみにしています。自宅ではできないような遊び方やアイデア、お友達との関わりなど、子どもの成長にとってもいい影響を与えていただいています。 ・参観日や、運動会、音楽会の行事が想像以上に多く、子どもの成長や園の様子がよくわかるので安心して任せられます。また、クラスが違う先生も、子どものことを覚えてくださり接してくださっているのが嬉しいです。 ・先生方はみなさん優しくていい意味でフレンドリーなので聞きたいことも聞きやすいしお迎えの時に園での様子を教えてくださいたいです。子どもたちも先生達が好きだしこども園楽しいと言っているのが一番だなと思います！ ・お迎えの時、子どもの表情や先生方との会話から毎日充実した日々を過ごしているのがよく感じられます。お忙しい中、連絡ノートに日中の様子をたくさん書いてくださり、面白エピソードや成長したことなどが知れて、毎日ノートを開けるのを楽しみにしています。

6 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育課程の作成	北はりま特別支援学校の「コア・イノベーション」を指さ、園内研修で「エピソード記述」をもとに、子どもの学びの見とりやそれを言語化し共有していく手法を学び、互いの意見交換を通して、子ども観が深まるように取り組んだ。さらに、それを生かして、効果的に保護者に子どもの様子を伝える学級だよりとして発信した。互いの良い面に学びながら園内研修を進めることができた。
2	安全管理	緊急事態発生に備えて作成し更新した「危機管理マニュアル」を職員間で共有し、職員だけでシミュレーション研修を行うなど、意識の向上を図りつつ、マニュアルの改善を図る。地震や風水害、感染症等の様々な危機事案に関して、毎月の避難訓練を適切に活用し、状況に応じた対応力を職員・園児に養うようにする。
3	研修と自己評価	「保育中のエピソード記述」に関する園内研修は、担任・副担任両方が参加したが、その内容が日常的な実践の中で深まるよう日常的に意見交流しながら「子どもを見る目」が深まる仕組みを整え、研修に対する関心や意識を高められるようにする。
4	保護者支援	保護者の考えや提案を積極的に聞き、適切と思うものについては日々の教育・保育に取り入れるように努める。保護者の子育ての悩みに対して、適時に適切な保護者支援を行うことができる体制をさらに整えていく。